

裏庭から山頂へ

## 男鹿山塊 日留賀岳

塩原の元湯温泉口から北へ向かう細い曲り道を車で少し登ると奥に一軒家が見えてくる。山と高原の地図にも記載されている「小山氏宅」だ。日留賀岳登山口はこのお宅の裏庭という一風変わった所なのだ。小山氏宅にはノートがあり、そこに記帳してから出発するらしいのだが…。

2月11日（日）：晴れ

西那須野塩原ICからハンターマウンテンへの渋滞に巻き込まれ、小山氏宅駐車場には予定より1時間遅れて到着した。準備前に挨拶に行くが、どんなに声をかけてもテレビの音は聞こえても一向に家人は姿を見せない。玄関にノートもなく、仕方がないので納屋に記載されている連絡先に電話をして計画書を下駄箱に置いて出発する。



隣人の裏山のような暗い杉林を30分ほど登ると突然視界が開けて送電線の鉄塔が現れる。ここでスノーシューを履きそこから平坦な林道を北上する。途中スノーモービルに追い越され少し羨ましく思う。

林道終点から比津羅山下部をトラバースし、同じ風景が広がる平坦地をGPSとコンパスで越え、日留賀岳尾根に取付く。雪は比較的締まっていて、スノーシューだと少し滑るくらいだ。ラッセルを覚悟していたが意外と進み、快適に高度を上げていく。日留賀嶽神社鳥居まで上がろうとも思ったが、稜線付近は風が強そうなので手前の木の陰で幕とした。

【日程】

2018年2月11日（日）  
～2月12日（月）

【メンバー】

佐藤 R（L）、飯田、竹澤、  
星野

【地形図】

塩原、日留賀岳

【記】佐藤 R

2月12日（月）：晴

夜間に雪が10cm位積り、外に出してあった荷物を掘り起こす。朝食をささっといただき、明るくなりかけた頃出発。やがてうすぼんやりとした美しいご来光を拝みながら日留賀岳神社鳥居付近に到着。鳥居を探すが見つけれないまま方向を北西から北東に変え進む。雪庇はさほど大きくなく安定した稜線だがモナカ雪の上に新雪が乗っている斜面でスノーシューでは滑って歩きづらい。飯田さんと私は途中で脱いでしまったところ今度は所どころ思い切り踏み抜き、つらいラッセルとなる。星野さんと竹澤



さんはスノーシューを履いたままだったのですすい進んでいく…足元の選択はとても大切。山頂付近はガスがかかり、残念ながら展望はなかったが無事日留賀岳に到着、記念撮影をしてそそくさと下山を開始する。登りでは見つけられなかった鳥居は飯田さんが探し当てながらテン場に到着。撤収後は下部で再び少々ルーファイしながら林道に到着し、小山氏宅へと戻っていった。



### 【行程】

2/11 小山氏宅駐車場（11:00）～1036m林道終点（12:40）～1470m付近泊 C1（15:00）  
 2/12 C1（6:20）～日留賀岳（8:35）～C1（9:10/50）～小山氏宅駐車場（13:15）